

校長室だより

No. 9

平成28年6月3日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず  
加藤嘉一

## 「定点観測」

気象観測等の言葉で「定点観測」という言葉がありますが、今日は気象観測ではなくわたしの「定点観測」です。わたしの1日の様子について、昨年度の校長室だよりに書いたように、今年も出張でない限り、毎日必ず校内を歩いて回ります。先生たちには申し訳ないのですが、授業中も教室に入らせてもらい、子供の様子や元気のない子はいないかななどを見て回ります。しかし、一番気にして行くところは「下駄箱」と「トイレ」です。

それらの場所は、授業中であればたいい人がいるわけではないので、子供たちの使い終わった跡が、そこにあります。おかしなもので、「下駄箱」では、靴が中の方に入り込んでいたり、不揃いであつたりする子がいます。その数がいつもより多いと、「おや、今日の心の様子はいつもと違うんじゃないかな」と考えます。なぜなら、先生方が指導してくれている内容の一つですから。この様子の違いで、子供たちの落ち着き具合がよくわかります。本校ではうれしいことに、かかとを踏んで靴を変形させてしまっている子がいません。すばらしいことです。しかし、まれにかかとの踏まれたものを見つけることがあります。そうすると、授業でもどんな様子かその子をちょっと見に行きます。

もっと顕著なのが、「トイレ」です。普通の公共施設では、スリッパの整頓具合が一番目に付くように思いますが、本校はとてもよく整頓されていてすばらしい。ですからわたしは床の汚れ具合とトイレトロールの使い方と子供たちの心の様子を推し量っています。ロールの下にちぎれた紙辺がよく落ちていたり、残念な時は、使い終わったロールの芯がそのまま残り、新しい



【ウン動神経の必要な和式は数少なくなりました】

ロールが使われ棚に置かれていたりすることがあります。水道の水を受ける所に雑巾や洗剤容器などが落ちている時も要注意。一番心配になるのは落書きです。

こうしたわたしの「定点観測」ができるのも、掃除の時はもちろん、朝などの子供たちが登校する前に、先生方が床拭きまでしてくれ、きれいにした状況を作ってくれているからこそわかることです。

体育祭の後の週初めは、ちょっと心配をしましたが、今は大丈夫。さてさて、今日はどんな様子か。物言わぬ「もの」が、子供たちの様子を教えてくれます。

### 六ツ美中部学区の方々の尊い生き方 ―明生クラブの活動からの回想―

5月30日（月）に明生クラブの方々が FBC 花壇用の苗の植え替えに来てくださいました。毎年数千株の植え替えを半日かかってやったださっています。そのなかのある方とお話しをしたとき、

「世のため人のためになることを  
しなきゃあ」

という言葉いただきました。70歳を超えていらっしゃる、十分社会に貢献されてきたと思います。それでもなおこうしておっしゃられる姿にただただ感動でした。

今度は昨年冬の話し。わたしが北門で朝の交通安全指導・あいさつ指導をしていると、通りかかったある高齢の女性がわたしの姿を見て、

「おはようございます。孫が2年前までお世話になりました」

とぺこんと会釈をされ、そのまま歩いていかれました。その姿に「こちらこそ、ありがとうございます」という気持ちになりました。

今度は春休みの話し。丸池の掃除を地域の方と PTA の方々とで行いました。掃除が終わってコイを元に戻すと、もうお孫さんも通っていない地域の方が、

「これで新入児を迎えられる」

どうれしそうにおっしゃられた言葉を耳にしました。なんて、ありがたいお心かと思いました。

尊い言葉の数々に感謝し、子供たちのためにがんばらねばと気持ちを新たにしました。



【本年度 明生クラブのみなさんの様子】

### 悠紀の里（地域交流センター）で絵画・書道の作品展

昨年度 100 周年を迎えたお田植え祭り。その会場となった「悠紀の里」で六ツ美地区小中学校作品展が開催されます。なお、6月5日（日）午後2時から、同会場でお田植え祭りも開催されます。御紹介を。

【六ツ美地区小中学校作品展】 この地区にちなんだ絵画や習字の代表作品を展示

- 展示日 6月3日（金）～7日（火）
- 場 所 悠紀の里ギャラリー